

内閣府青年国際交流事業報告書 2020

令和2年度

日本・韓国青年親善交流事業

「日韓青年親善交流のつどい@オンライン」

日本・中国青年親善交流事業

「日中代表ユースフォーラム」



内閣府

Cabinet Office, Government of Japan

※ 一部（名簿、写真、挨拶者氏名等）の個人情報については
削除してあります。

目次

序	2
I. 日本・韓国青年親善交流事業「日韓青年親善交流のつどい@オンライン」	
第1章 事業概要	3
グラフィア	4
第2章 参加青年レポート	6
第3章 資料	
参加青年名簿	19
事業評価アンケート	20
研修日程等	23
II. 日本・中国青年親善交流事業「日中代表ユースフォーラム」	
第1章 事業概要	26
グラフィア	27
第2章 参加青年レポート	28
第3章 資料	
参加青年名簿	54
事業評価アンケート	56
研修日程等	59

序

内閣府では、日本と諸外国の青年の交流により、青年相互の友好と理解を促進するとともに、青年の国際的視野を広げ、次代を担うにふさわしい国際性を備えた健全な青年を育成することを目的として各種の青年国際交流事業を実施してまいりました。

日本・中国青年親善交流事業は、昭和53年(1978年)の日中平和友好条約の締結を記念し、日本と中国両国政府が共同して、昭和54年度から実施しているものであり、また、日本・韓国青年親善交流事業は、昭和59年の日韓両国首脳会談における共同声明の趣旨を踏まえ、昭和60年の日韓国交正常化20周年を機に、日本と韓国の両国政府による共同事業として昭和62年度から実施しているものです。両事業は、それぞれ日本と中国、日本と韓国との青年の交流を通じて、青年相互の友好と理解を促進し、日本青年の国際的視野を広げ、国際協調の精神のかん養と国際協力の実践力を向上させることにより、国際社会で指導性を発揮できる青年を育成するとともに、青年による社会貢献活動に寄与することを目的としています。

しかしながら、令和2年度は、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大により、国を越えた交流が困難となり、当初予定していた事業も残念ながら中止となりました。

その一方で、現代はオンラインの活用により遠く離れた国々の青年同士が瞬時につながることができる時代でもあります。こうした技術も活用し、代替的な国際交流の場、そして新しい試みとして日本・中国青年親善交流事業「日中代表ユースフォーラム」及び日本・韓国青年親善交流事業「日韓青年親善交流のつどい@オンライン」を開催することとしました。

これらのプログラムでは、これからの新しい時代にリーダーシップを発揮できる青年の育成を図るため、日本と中国及び日本と韓国の青年によるオンライン交流を実施いたしました。

さらに、オンライン交流で得られた成果を報告するとともに、これまでの事業参加青年による経験や学びといった自身の成長の共有を行う事業報告会を実施し、より多くの方々に本事業の魅力をお伝えするための広報を行いました。

こうした取組を通じて、参加者の皆様が交流を深めるとともに、様々なテーマについて大いに議論いただいたことで、参加青年が今後の活動につながる学びを得て、今後の活動において活躍されることを願ってやみません。

また、事業報告会が広く一般の青少年の方々にとって、国際交流への関心を高め、本事業を御理解いただく際の一助となれば幸いです。

本報告書は、今回のオンライン交流で行ったディスカッション等の様々な活動について記録したものです。この報告書を通じ、事業の成果を御理解いただくとともに、今後の一層の御支援をいただければ幸いです。

最後に、本事業の実施にあたり、御協力いただいた関係各位に、心から御礼申し上げます。

令和3年3月
内閣府青年国際交流担当室長
酒田 元洋